

上下水道を運営するために必要な費用が水道料金や下水道使用料でまかなえておらず、両事業とも持続可能な経営状態とは言えない状態が続いています。

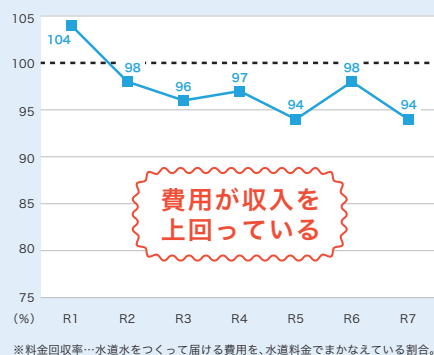
水道事業の現状と課題 — 赤字が続く厳しい経営状況 —

コロナ禍による経済活動の自粛などをきっかけに、現在も赤字経営が続いています。収入面では人口減少とともに水道料金収入の減少が続いています。支出面ではこれまでも経費削減などの経営努力を続けてきましたが、物価高騰による費用増加の影響は大きく、非常に厳しい経営状況となっています。

決算の状況(純利益と純損失)



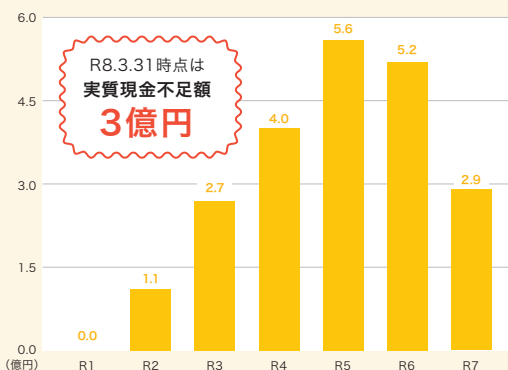
料金回収率



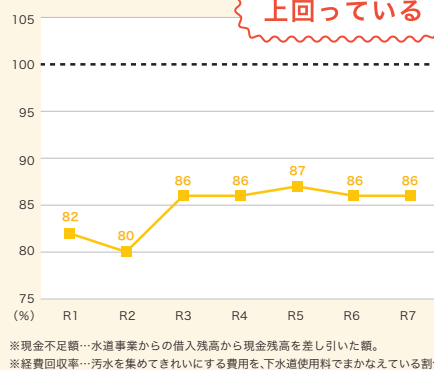
下水道事業の現状と課題 — 現金不足で膨らむ借入 —

下水道使用料収入の伸び悩みや維持管理費の増加、過去の投資による借金の返済負担などにより、現金不足が深刻化しています。不足分は水道事業からの借入で補っていますが、借入を続けることは将来への負担先送りとなるだけでなく、両事業の経営悪化につながります。

現金不足額



経費回収率



私たちの毎日の暮らしに欠かせない水。蛇口をひねれば安全できれいな水が使え、使用後の水も適切に処理されています。

8月号で紹介したように、加賀市には、水をつくり、家庭や学校、職場へ届ける施設や、使った水をきれいにして自然へ戻すためのさまざまな施設があります。これらの施設を維持・運営するためには、多くの費用がかかります。その費用は、本来、私たちが支払う上下水道料金によってまかなわれるものです。

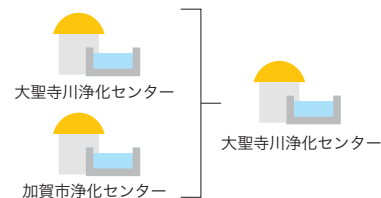
しかし、現在の上下水道事業では、必要な費用を上下水道料金だけでまかなうことができていません。

今月号では、事業の現状と、これからも安心して水を使い続けるための経営上の課題をお伝えします。

未来の上下水道を支える事業と、経営を取り巻く背景

02 下水道処理場の統合事業

加賀市の下水道を持続可能なものとするため、施設の統合事業を進めています。



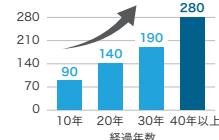
01 水道管の耐震化・更新

水道管の耐震化率は全国平均並みです。一方で、老朽化が進んでいます。安心して使い続けられるよう、耐震化と更新を計画的に進めています。

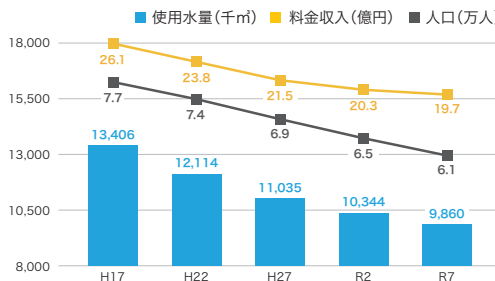
水道管全体の耐震化率



水道管(km)



加賀市の人口、使用水量、収入



03 人口減少で使う水も収入も減少

20年間で人口は約16,000人減少し、水道料金収入は約6億4千万円減少しました。